

教団新報

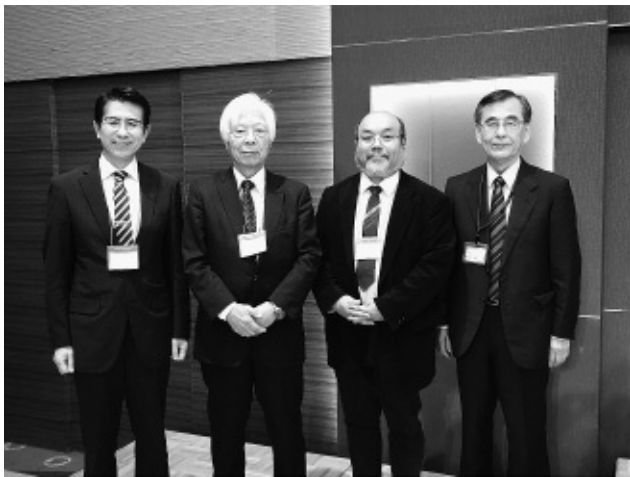
定 価 1部144円(本体133円+共206円)
予約購読料 1年分 千共 5,150円
紙代のみ 3,600円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 秋 山 徹
編集主筆 渡 邊 義 彦
印刷所 株式会社きかんし

「伝道する教団の建設」

－伝道の命と力の回復－

第41回 日本基督教団総会



左より、雲然書記、石橋議長、久世副議長、秋山総幹事

教団総会を終えて41総会期がはじまった。石橋秀雄議長、雲然俊美書記が5期目を担い、新しく久世そらち副議長が加わっての新三役となった。18年4月より着任した秋山徹総幹事と共に新しい四役で教団の舵取りを担うことになる。「伝道する教団の建設」を掲げて機構改定に実質的に着手する総会期となる。全教団的に取り組むことが求められている。

石橋議長、久世副議長、雲然書記、秋山総幹事

「伝道する教団の建設」――伝道の命と力の回復――を主題に掲げた、第41回日本基督教団総会は、10月23日から三日間、東京・池袋のホテルで開催され、総会議員4000名中、開会時376名が出席した。沖縄教区は、34回総会以来、8回連続して議員を選出しなかった。

石橋秀雄議長は、議長報告に先立ち、17カ月間、総幹事不在だったことを詫び、秋山徹総幹事選任の経過を報告した。議長報告で、石橋議長は、「2016年度の受洗者は、939名で、教団創設以来最少の受洗者だ

との問いに、石橋議長は、「総幹事から議長・総幹事名で沖縄教区を正式に訪問したいと伝えたとこ

ろ、「また、その時期ではない」との返答を得た。だが、応答があったことに感謝している」と述べた。

総幹事報告で、秋山徹

総幹事は、「東日本大震災救援は、17年3月末終了し、献金は、国内10億2926万6077円、海外4億811万2041円。貸付22教会中10教会が完済した。熊本・大分地震では、18年3月末現在、1億2426万5935円の献金。

本年7月から9月にかけて、大阪北部・西日本豪雨、北海道胆振東部地震、台風21号と、立て続けに自然災害が起きた

が、総幹事の下に救援対策委員会を立ち上げ、対応している」と報告した。

一日目夜行われた議長選挙では、過半数獲得者が出ず、二日目午前の再投票で、石橋秀雄議員閣下が議長に5選された。

石橋秀雄 188票
佐々木美知夫150票
久世そらち 28票
網中彰子、雲然俊美、横山良樹 各1票
(投票総数371、無効1)
石橋秀雄議長は、「4期

新任の久世そらち副議長は、「思いもよらず、大きな責任を担うことになった。教団のために何か出来るのか。皆さんと共に考えて行きたい」と語った。

書記は、正副議長提案の雲然俊美議員(奥羽)を議長が承認し、雲然俊美書記は5選された。

常議員選挙では、教職・信徒共に7名連記投票の

議員提案(有澤慎一議員・大阪)が先議された。有澤議員は、「37回総会以来の全数連記投票では、4割の意見がゼロになる」と訴えたが、賛成162

と反対194票で否決され

ミナハサ宣教協約に調印

二日目冒頭、教団とミナハサ福音キリスト教会(インドネシア)との宣教協約締結式が行われ、ヘイン・アリーナ議長、ヘニー・スマクル前議長と石橋秀雄教団議長、秋山徹総幹事が、署名・調印文書を交換した。

ミナハサは、第2次大戦中1942年、旧日本海軍が上陸した地で、戦後、邦人キリスト教徒医師の贖罪的な活動があった。そうしたことから、多くのインドネシア人が日本に移住するようにな



376名が東京・池袋に集う

た。総会三日目午後、九州教区提案の教憲9条・関連教規改正議案が上程されたが、梅崎浩二議長は、「時間がなく、充分な審議が出来ない」と議案を取り下げた。午後3時の

閉会時に、10議案が時間切れ廃案となった。

総会三日目に行われた常議員選挙では、教職14名中6名、信徒13名中6名が入れ替わった。

(永井清陽報)

1600人を教え、うち65%が女性だという。牧師数は、ミナハサ地区だけで教団全体に匹敵し、長老1万4000人、執事1万人と、邦人キリスト教徒にとっては、想像出来ないような数字が、次々に上げられた。

調印後、ヘイン・アリーナ議長は「この連携が出来るのは、神様の導き」と述べ、ヘニー・スマクル前議長は、戦後、在留邦人が医療でインドネシア住民を助けて来たことに触れ、「これからも助け

合う関係が続くことを願っている」と語った。石橋秀雄議長は、「侵略戦争に加担した罪に対し、悔い改めを祈り、隣人に救いを乞いながら、調印をした。調印式を行ったことを、心から喜んでる」と述べた。

(永井清陽報)

荒野声

飼い犬に手を噛まれた。牙が少し深く入ったので血が

た。流れた血を犬の鼻面に突き付けた。神妙に静かになった。主人を傷つけてしまったと反省したのでうか。▼飼い犬に手を噛まれるには比喩的に蔑みのニュアンスがあるが、主から傷を見せられたトマスはどうかだったのだろう。トマスの心を聖書は記していない。「わたしの主、わたしの神」と信仰の告白だけを記す。▼お受けになった傷をトマスに示された主の御顔は、筆者が犬に傷を突き付けたような怒りの顔だったのではないであろう。憐れみ、慈しみと愛に満ちた表情であったのか。言葉にすると全く陳腐だ。この御顔をトマスは正面から見上げることでできたのか。▼主は、弟子たちをもう僕とは呼ばない、友と呼ぶ、と十字架を前に言っておかれた。主従の関係ではなく、兄弟となってくたさると言ってくたさった。兄を傷つけた弟たちは、兄の傷を前に大いに悲しんだにちがいない。この大きな悲しみから彼らが立ち直ったのは、彼ら自身の力ではない。ただ主の憐れみと御力だ。▼少し時間が経ち、我が家の犬との関係も以前よりは少しは良いものとなったようにも思える。

19年度予算、負担金3億円を下回る

教団歳入歳出に関することを、愛澤豊重予算決算委員長が報告した。

16年度決算では、事業活動収支において、「財務幹事退職による退職金増、台湾地震への献金、東日本大震災対策本部への支出等の特別な支出があり、1480万3000円の赤字となった。投資活動収支において、三鷹住宅等の売却による収入があり、全体では424万5000円の赤字となった」と述べた。

17年度決算では、「総幹事未就任による人件費の減少等で、事業活動収支差額が1506万9000円の黒字となり、当期収支差額で347万4000円の黒字となった。収益事業会計において、会館室料が1081万3000円となり、新報購読額、年鑑の売り上げの減少があるものの、2万2976円の黒字となった」と述べた。

18年度予算の審議に入る前に、兵庫教区から出された、「沖縄教区宣教連帯金」に関する件を審議した。2010年度からの減額分(600万)を送ると共に、2018年度分を120万とし、沖縄宣教連帯金を720万円とすることが提案されたが、369名中159名の賛成で否決。

18年度実行予算で愛澤委員長は、負担金収入が、対前年度比1・34%減の3億474万2000円になること、支出項目において、総幹事の給与分が増額する人件費を除き、総会関係費、宣教関係費等多くの科目において、賛成意見として「教

団総会三日目午後には、議論された主な議案は次の通り。

九州教区提案の「伝道資金規則改定に関する件」。賛成意見として「教

常議員選挙、結果承認を前常議員会に付託

の2億9970万6000円となり、はじめて3億円を下回ったこと、事業活動収支の差額が3万4000円と厳しい状況であることを説明した。

出版局決算では、山北宣久理事長が報告。16年度について、売上総利益は、1億1573万2273円、当期純利益は651万6034円の赤字となったと述べ、要因として、在庫処分を600万円行い、単行本在庫調整勘定の繰入を100万円増額したこと、パソコンの更新、会館移転に伴う費用等を挙げた。17年度について、売上総利益は8938万1823円、当期純利益は2355万3114円の赤字となったと述べ、要因として、在庫処分を600万円行い、単行本在庫調整勘定の繰入を400万円増額したことを挙げた。

財務関連議案は、全て挙手多数で可決した。(嶋田恵悟報)

おしについて学習会を行っている。教区内の和解と一致、交わりの回復が優先事項である」という意見があった。採決の結果、賛成129票で少数否決。

神奈川教区からは「聖餐のあり方について慎重かつ十分に議論する場を教団内に設置する件」が提案された。この議案は41総会期限定で、聖餐に関する議論の場を設定する委員会の設置を求めるものである。採決の結果賛成140票で否決。

西中国教区提案『天皇代替わり儀式に公費を支出することに反対する声明』に関する件」は、賛成205票で可決。

また、総会中に常議員選挙の結果が確定しなかったため、「常議員選挙結果の取り扱いと承認を40総会期常議員会に付託する件」が上程され、賛成236票、3分の2が満たされ、可決された。(小林信人報)

【教職常議員】	【信徒常議員】
◎小西 望 (東北) 279票	佐久間文雄 (関東) 200票
藤掛 順一 (神奈川) 198票	野村敏彦 (中部) 199票
横山良樹 (中部) 198票	八嶋由里子 (東海) 198票
川崎善三 (兵庫) 193票	豊川昭夫 (関東) 197票
宮本義弘 (東海) 193票	奥山盾夫 (東京) 196票
◎田邊由紀夫 (大阪) 185票	◎遠矢良男 (東京) 195票
東野尚志 (関東) 164票	◎高橋嘉男 (東北) 194票
大友英樹 (東京) 163票	◎河田直子 (東中国) 193票
篠浦千史 (四国) 159票	◎黒沼宏一 (東海) 192票
◎勇 文人 (中部) 155票	望月克仁 (神奈川) 190票
◎願 念 望 (西東京) 154票	◎守安久美子 (東京) 165票
◎梅崎浩二 (九州) 149票	井田昌之 (西東京) 155票
◎入 治彦 (京都) 146票	◎土井しのぶ (東中国) 142票
小橋孝一 (東京) 142票	

*得票順 (◎は新議員、無印は前総会期から再選)



総会2日目、協議会。マイクに並び次々に発言。

区間格差を少なくするような運用がなされるべき、反対意見として「分配後の用いられ方を明確にすべきで、申請制は保持すべき」との意見があり、採決の結果少数否決となった。

西中国教区提案の「日本基督教団と沖縄キリスト教団との『合同のとりえなおしと実質化』をすすめるための特設委員会を設置する件」。次回教団総会までの期間限定で各教区常置委員1名、計17名で委員会を組織するの

とを求める議案である。議場からの「沖縄教区への言及について、沖縄教区が距離を置いている状況をどう考えているか」、「沖縄不在の状況でこのような議案を議論できるのか」との質問に対し、「沖縄教区の主体性を考えて、沖縄教区の判断にゆだねることを議案に盛り込んだ」と小畑太作西中国教区議長が答えた。沖縄から出席の推薦議員より「現在沖縄教区で、なぜ教団と距離を置いているのか、合同の捉えな

総会三日間を通して、出席者が共に主を仰ぐ礼拝で一日の日程が始められた。

開会礼拝では、教団総会史上初めて海外から説教者を招いた。李秀英牧師(大韓イエス教長老会)は洛雲海牧師(長老会神学大学院)の通訳を介し、「福音伝播の命令」と題して、マルコによる福音書16章15〜20節の御言葉を説き明かした。ご復活の主イエスは弟子たちに現れ、宣教命令を与えられた。この伝道の使命には、三つの危険が伴う。死と迫害、狂気に陥っているのではないかとの非難、福音が伝統と食い違つという糾弾である。相手の心を乱すことが倫理的伝統に反するとタフー視される日本では、心を揺さぶる福音の伝道は批判されるだろう。しかし、主の命令である伝道は、常に伝統よりも大切である。李師は、日本の教会が伝道を志すのは誠に尊いと語り、主が教団を力強く導かれ、宣教命令を遂行する教会とならしめてくださるようにとの祈りで説教を結んだ。

「福音伝播の命令」 開会・逝去者記念・聖餐礼拝を献げる

礼 拝

二日目の逝去者記念礼拝では、横山良樹牧師(半田)が『衣鉢』を継ぐ者の題のもとに列王記下2章6〜18節から説教を語った。エリシャは、預言者エリヤの後継者として彼の霊を受けたいと切実に願ひ、ヨルダンに落ちたエリヤから離れようとしなかった。エリヤは初めの歩みへの立ち帰りを示唆するその旅にエリシャを伴い、その道すがら、召命は人の思いによらず神の御心の表れによるとエリシャに告げた。その後、エリヤが火の戦車に乗って嵐の中を天に上ってゆく様を見たエリシャは、そこに神のご臨在を確かに目撃し、人の思いではなく、主の御旨のみを求める者に新しく造り変えられ、主に従う歩みを始めた。第40回総会期に逝去された教団教師・宣教師は、主の召しを受けて献身され、福音を伝道し続けた方々である。御心によって後継者が立てられてゆくことを信じて進み続けたいとの結語の後、逝去者128名の氏名が読み上げられた。

三日目には、黒田若雄牧師(高知)がエレミヤ書31章15〜17節から聖餐礼拝説教「あなたの未来には希望がある」を語った。神の守りがあるからこそ、戦いに必ず勝利すると信じていたイスラエルの民にとって、バビロンに大敗を喫したのは神に見捨てられたことを意味した。未来への希望を失った彼らに、神は「あなたの苦しみは報いられる」と語られた。これは、絶望に沈む民を今、主は見捨ててはおらず、今後も必ず共におられると告げる神の決意宣言である。神は主イエスを世に遣わして、この決意の証としてくださった。この主が、私たちを未来へと導いてくださることにこそ、私たちの希望がある。1945年に空襲に遭って内部が全焼した高知教会は、その四日後に焼け跡で主日礼拝を献げ、1ヶ月後には1名の受洗者を与えられた。人の目にはすべての希望が失われたように見える中でこそ、神は希望の光を与えられる。祈りの後、聖餐の恵みに与った。(原田裕子報)

報告会
協議会

教団の諸課題について報告、協議

《報告会》

「熊本・大分地震支援」について、梅崎浩二九州教区議長が報告した。「継続的な支援に感謝である。被災教会15教会中8教会が再建完了。3教会が部分完了。2教会が復旧予定。2教会は見込みが立たない状況である。再建が完了した3教会は献堂式を行うことが出来た。支援活動として、ボランティアセンター・エールピスくまもとを設置し地域に奉仕している」。その後、献堂式を執り行った別府不老町教会・齋藤真行牧師と、同じく献堂式を行った隈府教会代務者の錦ヶ丘教会・川島直道牧師より、全国から捧げられる祈りと支えへの感謝の言葉が述べられた。

「西日本豪雨被災」「大分北部地震・台風21号被災」について、秋山徹総幹事が報告書により報告した。大分北部地震では、被害は比較的少なかったが、台湾基督長老教会より1万ドルの送金があり、大阪、兵庫、京都の3教区に託した。西日本豪雨では、被害が広範囲に及んでいる状況の中で、それぞれの地にある教会が活動拠点を立ち上げ、地域の組織と協働しながら支援活動を行っていることが報告された。

「WCC世界宣教伝道会議」については、三浦洋人氏（仙台北教会）、野川祈氏（国立教会）、廣中佳実氏（教団職員）が、「会議の目的として、欧米中心の伝道ではなく、第三世界の課題に向き合うための会議であること。主の弟子であること、宣教すること、エキュメニカルであることという



報告に立つ三浦（右）、野川（左）両氏



差別問題への関心のハードルを下げるため

部落解放劇「さようなら無関心」

教団総会ごとに行われる部落解放劇が50分ほどの上演時間で行われた。香澄さんと遙君、二人の教会青年が「部落解放青年セミナー」実行委員会に参加して劇が進む。遙君は部落差別問題について詳しくないが、香澄さんに誘われてはじめて実行委員会に参加する。委員会では、武牧師に導かれながら、今年の教団総会に上演する解放劇についての話し合いがはじまる。差別問題をめぐる経験を寸劇の仕方でも披露して解放劇に仕立てゆく。焼肉パーティーでの精肉業者の話。被差別部落に建つ学校に遭わされた教師の話。同和地区近くの極端に安い土地の売買を巡る話。演じられ

三本柱を中心に活動を行っていること。違いを乗り越えること、少数意見に耳を傾けることを学び、また、女性の権利を守る等、マイノリティー問題への意識を高めることが出来たと報告した。「リフォームス500」については、増田将平実行委員長が「中高生大会で、他教派からの教団への期待を強く感じた」と報告した。（小林信人報）

《協議会》

総会二日目午後、議事の終わりに約1時間の協議会が持たれた。18年各教区総会において「教団機構改定骨子案」が示されたことを受けて教団全体の意見を聴くはじめての協議の場となった。質疑応答ではなく、議場に立てられた4本のマイクに発言者が並び次々に発言した。17名の発言者が概ねまとめる次のような意見を述べた。財政の逼迫に機構改定は必須である。教団総会規模、教団三局体制、50年にわたって機構の見直しを行っていないことなどの指摘。その一方で、財政問題からのみの機構改定が先行することで、そもそも伝道論や宣教論が希薄になることへ危惧。教団紛争において顕著となった、いわゆる教会派、社会派と言われる教会群

を越えての改革の必要。他教派の改革の実情調査、青年伝道、離島・過疎地の伝道、信徒育成、献金運動など、発言は多岐に渡った。

一つの結論や協議会としての着地点があったわけではなく、それぞれの発言を踏まえて骨子案への具体的な肉付け、展開提案が今後必要で、41総会期の最も重要な案件となる。（新報編集部報）

消息

栗田芳子氏（隠退教師）

17年5月26日逝去、102歳。大阪府生まれ。75年受允、同年より港復活、西九条教会を牧会し88年隠退。遺族は娘・東條直美さん。

土屋恵子氏（隠退教師）

18年10月3日逝去、87歳。東京都生まれ。92年東京神学大学大学院卒業。93年より宮島口教会を牧会し、08年隠退。遺族は義娘・土屋綾子さん。

信徒運動全国展開への期待

第7回信徒交流の集い

総会二日目の議事終了後、第7回信徒交流の集いが開催された。出席者全員の声が聴かれる全国規模の会への期待もあり、北は奥羽教区から沖縄教区まで、52教会65名が出席している」と激励した。

世話人津村正敏兄の協議会の和田征子姉は、「私たち被爆者は同じ苦しみを世界中の誰にも経験させたくない。核兵器廃絶国際署名として出席名」への支援協力を願いたい」と呼びかけた。続いて東海教区・大和田秀雄教団総会議長は、



「伝道推進基本方針が19年に「日本伝道160年記念全国信徒大会」を東京で開催することとて大きなこと（鈴木功男報）

牧野信次、平山芳子、平山嘉廣、坂井虔、佐々木威、笹沼昭平、教師退任宮崎 徹、渋谷一雄、教師改姓高橋詠子↓中塚詠子、教会所在地変更志筑 干 656-2131、淡路市志筑3965-2

川和 干 224-0057、横浜市都筑区川和町1742、伝道所所在地変更よきサマリヤ人 干 901

1105沖縄県島尻郡南風原町字新川460、伝道所通信先変更新見 干 718-0011、新見市新見21081-4 平和子方

勝山 干 719-3201、真庭市久世2825、久世教会、西上尾 干 362-0004、7上尾市今泉1511、9 上山芳範方、手宮 干 047-00044、小樽市梅ヶ枝町11-12、手宮幼稚園気付

お詫び・訂正

新報4890・91号3面消息欄、吉田トシ氏「龍川」を「瀧川」に、お詫びして訂正いたします。

事務局報

教師異動

静岡英和学院大学 辞教伊勢田奈緒

東洋英和女学院 就教伊勢田奈緒

中標津 辞代 衛藤満彦

高槻南平台 辞代 秋山千四郎

〃 辞代 川上 揚

〃 就 圭川上 揚

琴似中央通 辞代 黒田 靖

〃 就 圭秋山千四郎

三春 就 代 明石義信

〃 辞 担 佐々木威

八丈島 就 代 藤盛勇紀

高崎南 辞 担 田尻真介

〃 就 圭田尻真介

代々木 就 代 古旗 誠

教師隠退

